

ボーダレス・アートミュージアムNO-MAキュレーター公募企画展

大いなる日常

2017.2.18 sat.-3.20 mon.



The Great Ordinary



会期：2017年2月18日(土)～3月20日(月・祝)

開館時間：11:00～17:00

休館日：月曜(祝祭日の場合は翌日休館)

場所：ボーダレス・アートミュージアムNO-MA(滋賀県近江八幡市永原町上16〔旧野間邸〕)

観覧料：一般300円(250円) 高大生250円(200円) 中学生以下無料

※障害のある方と付添者1名無料 ※()内は20名以上の団体料金

主催：アール・ブリュット魅力発信事業実行委員会
構成団体：ボーダレス・アートミュージアムNO-MA(社会福祉法人グロー〔GLOW〕-生きることが光になる-)
滋賀県、滋賀県立近代美術館、近江八幡市、一般社団法人近江八幡観光物産協会、
社会福祉法人愛成会、NPO法人はれたりくもったり、滋賀県施設合同企画展実行委員会
後援：滋賀県教育委員会、近江八幡市教育委員会
協力：社会福祉法人太陽会しょうぶ学園、社会福祉法人みぬま福祉会工房集、NPO法人しみんふくし滋賀
平成28年度文化庁
助成：地域との核となる美術館・歴史博物館支援事業

Orangeta Kingdom Embassy

表現するという行為は、誰のものなのでしょうか？
 何かを表現するという行為は、限られた人に許された行為ではなく、無意識のうちに誰もがやっていることです。その人にとっては切実な習慣や愛着、ささやかなこだわりが、他の人にとって“表現”として発見されることもあります。また、ひとりではじまる表現もあれば、誰かの存在があるからこそできあがる表現もあるのです。わたしたちは自分以外のものと関係を結びながら日々生きていますが、表現においても、それは避けられない問題です。そして世界は、必ずしも人だけでできているわけではありません。この展覧会では、人や動物、植物、機械など、性質の異なる主体の協働によるさまざまな表現を通して、表現のはじまりやそこにある他者との関係性のかたちを改めて見つめます。

Does creative expression belong only to a select few?
 Creative expression is not an act limited to artists and special individuals but it is something we all do unconsciously. Sometimes, our earnest habits, emotional attachments, or trivial obsessions can become a “creative expression” when seen through the eyes of another. Moreover, some creative expressions are made spontaneously on their own while others are made possible through the presence of another person. In our daily lives we form relationships with others, and this is also inevitable when it comes to expressing ourselves creatively. And our world does not consist only of the relationships between human beings. Observing acts of expression by humans, animals, plants, and machines working together, this exhibition explores the origin of expression and the forms of relationships involved.

【オープニングトーク】

「生き物と表現をつくる」

本展出演者とキュレーターが、本展のテーマであるさまざまな協働のあり方について話し合います。

出演：AKI INOMATA、トーマス・リバティニー、銅金裕司(本展出演者)
 田中みゆき(本展キュレーター)

進行：安藤恵多(社会福祉法人グロ-法人本部企画事業部 主任事)

日時：2月18日(土) 14:00-16:00
 会場：酒遊館(近江八幡市仲屋町中21)

定員：40名/要予約/参加費：無料(別途観覧料が必要です)

【ワークショップ】

虫の足音を聴く「Bug's Beat」ワークショップ

生態について学び、みんなで足音を聴きながらスケッチをしよう。

講師：佐々木有美+滝戸ドリタ

(「Bug's Beat」作家)

普段人には聴こえない虫の世界の音を聴くことができる作品「Bug's Beat」。

虫の奏でる音に耳を澄ますことで、虫や自分の大きさが普段と違って感じる感覚を体感してください。

日時：3月4日(土) 14:00-16:00

会場：奥村家住宅(近江八幡市永原町上8)

定員：20名/要予約/参加費：無料(別途観覧料が必要です)

※小学校3年生以下の方は保護者の同伴が必要です。



【キュレーター公募企画展】NO-MAでは、2004年の開館以来、障害の有無や表現のジャンルにとらわれず、「人の持つ普遍的な表現の力」を感じていただくことを目的に、様々なボーダー(境界)を越えていくことに主眼をおいた展覧会を企画・運営してきました。そして近年、アール・ブリュットをはじめとする障害者の文化芸術活動に関する世の中の関心は確実に高まってきています。このような状況を背景に、この分野の更なる振興を担う新たな人材の活躍の場として、キュレーター公募企画展を開催します。

【お問い合わせ・イベントのご予約】

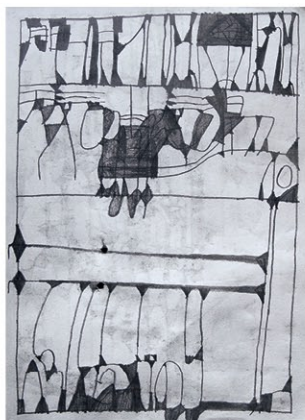
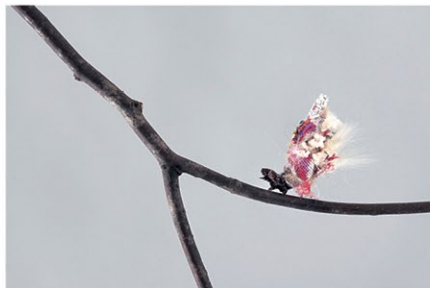
ボーダレス・アートミュージアムNO-MA

523-0849 滋賀県近江八幡市永原町上16(旧野間邸)

TEL/FAX:0748-36-5018 Email:no-ma@ake.ocn.ne.jp

URL:http://www.no-ma.jp

[出展者/Exhibitors] AKI INOMATA、杉浦篤 Atsushi Sugiura、銅金裕司 Yuji Dogane、戸來貴規 Takanori Herai、やんツー yang02、吉本篤史 Atsushi Yoshimoto、トーマス・リバティニー Tomas Libertiny [企画者/Curator] 田中みゆき Miyuki Tanaka



上段(左) AKI INOMATA 「girl, girl, girl ...」
 上段(右) トーマス・リバティニー 「The Honeycomb Vase (yellow) / edition 7 / Artist's proof」 Photo: Eric Zee
 中段(左) やんツー (「落書き」のための装置) *参考作品
 中段(右) 吉本篤史 無題
 下段(左) 戸來貴規 「につき」
 下段(右) 銅金裕司 (「Paphio in My Life」銅金裕司+藤枝守 *参考作品)
 表面・右 杉浦篤 無題



【NO-MA 交通案内】

バス:JR近江八幡駅から近江鉄道

バス(長命寺行き)大杉町バス停下

車:徒歩10分

車:名神高速道路・竜王ICより「近

江八幡・8号線」方面に出る。国道8

号線「西横関」交差点を右折、「東

川町」交差点を左折、県道2号線

「小船木町」交差点を右折、「出町」

交差点を左折、計30分。

お車でお越しのお客様へ:駐車場

に限りがありますので満車の際は

市営駐車場をご利用ください。

